

令和2年度

池田町当初予算 が決まりました



● 予算規模

会計区分	令和2年度当初予算額	前年度比
一般会計	32億4,710万円	10.8% 増
特別会計(7事業)	14億6,450万円	4.7% 増
合計	47億1,160万円	8.8% 増

主な事業と予算

「すみか」支援

住宅多世代化等支援……………100万円

多世代同居に伴う住宅の新增築・機能改善、古民家改修などを支援します。

「しごと」支援

食品加工研究支援施設「食ラボ」運営……………450万円

食ラボ(藪田)において、安心・安全な農産物や町の食文化を活用した商品開発の促進・高度化と、町民による商品開発製造を支援します。

地域産業等支援施設「わくラボ」運営……………303万円

わくラボ(野尻)において、個人・法人へ働き場所(部屋)を貸し出すことで、町内での事業創出やコミュニティ振興を支援します。令和2年4月現在、すべての部屋が長期使用されています。



▲全部屋長期使用が続くわくラボ

地域資源活用商品開発支援……………70万円

地域資源を活用した商品開発を行う場合、対象経費の70%以内(上限35万円)を補助します。食ラボでの商品開発も対象です。

営業促進バックアップ……………24万円

販路拡大のため物販・商談・展示会などに参加する経費の80%以内(一回あたり上限10万円)を補助します。

「なかま」支援

ちっちゃな幸せ実現事業^{プラス}……………350万円

ふるさと納税による寄附金を活用し、町民によるまちづくり関連活動を支援します。

コミュニティ育成・地域自治高度化……………80万円

集落の交流促進や地域の課題克服のための諸活動を支援します。

都市農村交流・観光の促進

ツリーピクニックアドベンチャーいけだ
拡張整備(設計)……………1,369万円

冠山トンネル道路開通や北陸新幹線県内延伸(いずれも令和4年度予定)を見据え、ツリーピクニックアドベンチャーいけだ(志津原)を拡張整備し、誰もが集え・楽しみ・森に触れることができる拠点とします。

今年度は施設設計に充て、来年度から工事に入る計画です。

都市農村交流推進……………474万円

農村de合宿キャンプセンター(菅生)を拠点に、「農村がキャンパス、風土が教科書」をテーマとした農山村ならではの合宿・体験メニューを、地域と連携しながら提供します。

また、町立クライミングウォール(キャンプセンター併設)の運営充実を図り、スポーツクライミング競技を通じた交流人口の増加を目指します。



▲キャンプセンター/クライミングウォールの2019年利用者数は約5,400人

子育て・教育環境の充実

ママがんばる手当……………1,133万円

0~3歳までの子どもを持つ親に、月2万円分の「いけだ応援券」を支給します。また、子ども1人につき月1万円を現金で支給します。

教育環境向上……………201万円

地域や大学と連携し、児童・生徒の主体的・能動的学び(アクティブラーニング)を推進します。

また、学校・保護者・地域住民・教育委員会が教育環境について協議する「ま〜るいテーブル会議」を定期的に開催する予定です。

入学支度支援……………180万円

子どもの就学・進学時の準備費用を補助します。
→小学校入学:5万円 中学校入学:5万円
高校入学:10万円

視力スクリーニング検査機器導入……………113万円

子どもの視覚異常を早期に発見し、早期治療・回復につなげるための機器を導入します。

ようこそ赤ちゃん事業……………100万円

初めて出産を迎える家族に対し、出産準備金20万円を支給します。

暮らしの安心・安全の確保

デジタル防災行政無線整備……………3億6,610万円

老朽化したアナログ式防災行政無線をデジタル式に置き換え、災害時に避難情報などを迅速・確実に伝達できるようにします。町内の各家庭には、年度内に新しい戸別受信機を配布する予定です。

地域公共交通対策……………4,363万円

通勤・通学バスなどの定期助成、路線バスの運賃助成・運行補助、なかま号・マイバスの運行などにより、暮らしに欠かせない移動手段の確保と利用促進を図ります。



▲4月でマイバス運行1周年

有害鳥獣対策……………1,140万円

鳥獣害の拡大を防止するための経費です。昨年の豚コレラ発生後、ウイルスを媒介するイノシシについては、報償金を増額することで有害捕獲隊などによる捕獲を促進しています。

おでかけ支援「ふくタク」事業……………245万円

障害などにより運転が困難な方が気軽に外出できるよう、町内タクシー事業者を利用する際の料金の一部を助成しています。詳しくは13Pへ。

地域防災力の向上……………84万円

自警消防隊の装備充実や防災士資格取得支援により、地域の防災力向上を図ります。

木望の森100年プロジェクト

(仮称)Wood LABO運営……………1,115万円

池田区に整備する新たな木活施設において、木工機器を導入するとともに、運営体制を構築し、木望の森100年プロジェクトの中心拠点に育てます。

森林レーザー測量機導入……………688万円

森林整備の前段階として、3次元レーザー測量機を導入し、森林資源の把握と活用のためのデータ収集を図ります。

地方創生全般

第2期戦略策定……………160万円

町が平成28年度から5か年で進めている第1期地方創生総合戦略が、今年度で終了します。そこで、学識者や町民委員にもご協力いただきながら、来年度からの第2期戦略を策定します。